

目標達成計画

作成日：平成24年1月30日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	周りにアパートが多く、町内会等もなく地域住民の協力を得る事が難しい。 合同での避難訓練もまだ実施できていない。	運営推進会議を通じて、地域の方々との災害時協力体制構築を進め、合同の防災訓練を開催する。	次回、運営推進会議の議題として話し合いを行う。	6ヶ月
2	33	利用者が重度化した場合や終末期のあり方について、本人・家族の意向を確認する話し合いが十分ではなく、文章化もできていない。	入所時に「重度化」「終末期」のあり方について十分、本人・家族の意向を聞くようにし、文章化し共有しておくようにする。既に入所されている利用者にもできるだけ早く行うようにする。	本人・家族の意向を共有するための文章化した書類を作成し、話し合いを行う機会を作る。	6ヶ月
3	36	プライバシー保護に関するマニュアルがない。	プライバシー保護に関するマニュアルの作成。	個人情報の保護・個人の羞恥心への配慮等プライバシーに関するマニュアルを作成し、職員全員に徹底していく。	6ヶ月
4	5	身体拘束に関する研修への参加、伝達講習を行って職員全員がその内容や弊害について認識している。しかし、施設前が車通りの多い道路であり安全の為施錠している。	施錠による心理的圧迫感を利用者に与えないように職員付添にて外出の機会を作る。	入居利用者の心身状態、配置職員数等を考慮し、職員付き添いのもと外出の機会を作る。	6ヶ月
5					ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。